



## FY2024 Q3決算説明会

2025年2月14日  
パーソルホールディングス

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パーソルホールディングス株式会社

2025年2月14日（金）16:15-17:00 開催

FY2024 Q3 決算説明会 書き起こし

# ハイライト



1

## FY2024 Q3累計の決算概要と今後の見通し

- 売上収益は1兆862億円（前期比+9.6%）、調整後EBITDAは 648億円（同+21.3%）、営業利益は484億円（同+18.3%）とQ1、Q2と同じく堅調
- Q4にマーケティング投資を強化のうえ、来期は10%程度の利益成長を目指す

2

## BPO事業の強化

- 旧富士通コミュニケーションサービス（株）の株式100%を取得（2月3日取得完了）
- BPO事業におけるIT運用・保守の受託領域を強化

3

## Topics

- 2025年1月24日「人的資本レポート2025」発行
- 日本取締役協会主催「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー<sup>®</sup>2024」東京都知事賞を受賞

\*1 FY2024は2025年3月期を指します（以下同じ） \*2 FY2023よりIFRSを適用 \*3 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーム後の数値

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2

【代表取締役社長 CEO 和田】

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

パーソルホールディングス代表取締役社長 CEO 和田です。

本日皆様にお伝えしたいことはこの3点でございます。

1つ目、FY24Q3 累計の決算概要、並びに今後の見通しについてお話しします。

2つ目はBPO 事業に関しまして、M&A がございましたのでそれに関するご報告です。

そして3つ目は当社のトピックスでございます。

まず1つ目ですが、Q3 累計の売上収益は1兆862億円、調整後 EBITDA は648億円、営業利益は484億円と堅調に推移いたしました。なお、Q4 におきましてはマーケティング投資を積極的に推進したいと考えておりまして、それを踏まえまして来期は利益成長で10%程度を目指したいと考えております。

2つ目はBPO 事業でございます。旧富士通コミュニケーションサービス様の株式を100%取得させていただきました。今後のBPOの戦略に関しまして後ほどお伝えしたいと思います。

それから3つ目はトピックスでございます。2025年1月24日に、人的資本レポートを発行しております。それからもう1点は、日本取締役協会様主催のコーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー2024で、東京都知事賞をいただきましたので、それに関しましてもご報告差し上げたいと思っております。

それではまずは決算概要につきまして、CFOの徳永よりご報告いたします。徳永さんお願いします。

# FY2024 Q3累計決算概要 と今後の見通し

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】

CFO の徳永でございます。私から Q3 累計の決算概要と、SBU の足元の状況について説明をいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

## FY2024 Q3累計 決算概要（連結） 売上収益・調整後EBITDAともに堅調に拡大



(Million yen)	FY2023	FY2024	YoY	通期業績予想 (進捗率 <sup>*1</sup> )	
	Q3累計	Q3累計			
売上収益	990,627	<b>1,086,213</b>	+9.6%	1,455,000	(74.7%)
売上総利益	224,359	<b>249,002</b>	+11.0%	-	-
営業利益	40,921	<b>48,420</b>	+18.3%	56,000	(86.5%)
営業利益率	4.1%	<b>4.5%</b>	+0.3pt	3.8%	-
EBITDA	62,753	<b>72,622</b>	+15.7%	-	-
EBITDA Margin	6.3%	<b>6.7%</b>	+0.4pt	-	-
調整後EBITDA	53,443	<b>64,819</b>	+21.3%	76,000	(85.3%)
調整後EBITDA Margin	5.4%	<b>6.0%</b>	+0.6pt	5.2%	-
四半期利益 <sup>*2</sup>	25,209	<b>31,161</b>	+23.6%	36,500	(85.4%)
調整後四半期利益	28,298	<b>36,264</b>	+28.1%	42,200	(85.9%)
EPS (Yen)	11.12	<b>14.00</b>	+25.9%	16.30	(85.9%)
調整後EPS (Yen)	12.41	<b>16.15</b>	+30.1%	18.75	(86.1%)

\*1 進捗率は直近の通期業績予想で算出

\*2 親会社の所有者に帰属する四半期利益

\*3 為替レート 【豪ドル】 FY2023Q3累計：94.3円、FY2024Q3累計：100.7円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

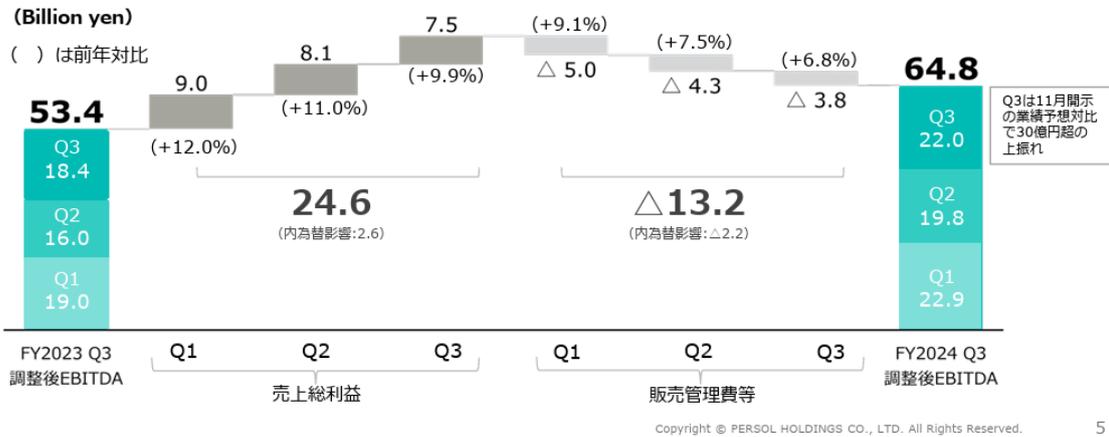
冒頭もございましたが、Q3 単体、そして Q3 累計とも堅調な状況でございました。

具体的には、売上収益につきましては前年対比 9.6%増の 1 兆 862 億円、IFRS ベースの営業利益につきましては 18%増の 484 億円。そして私どもが一番大事な KPI と認識しております調整後 EBITDA につきましては 21%増の 648 億円でございました。

# FY2024 Q3累計 調整後EBITDA増減分析（前期比）



## 売上総利益の成長は+11.0%で堅調 販売管理費増の主要因は人件費



続きまして、調整後 EBITDA の前年対比の詳細でございます。

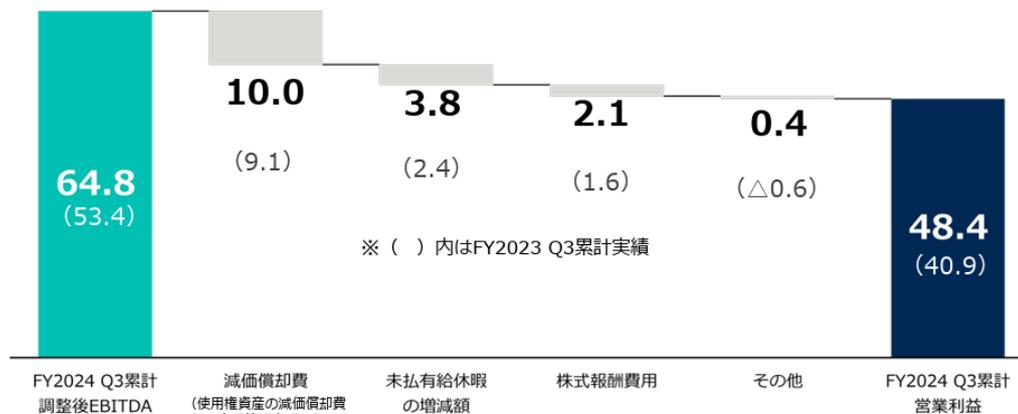
一番左側、昨年度の Q3 累計は 534 億円、そして一番右側、今年度の Q3 累計は 648 億円でございます。

内訳ですが、まず売上総利益、粗利でございます。Q1 から Q3 まで 10%前後の成長ということで、堅調な状況でございます。また販管費ですが、主にこちらは人件費の増に伴うものでございますが、40 億円ないし 50 億円ということで、Q1 から Q3 まで適正化できていると認識しております。また今年度の Q3 の調整後 EBITDA でございますが、昨年度の 184 億円に対して 220 億円という実績でございます。この 220 億円につきましては、11 月の決算発表時の見立て対比で約 30 億円超上振れしております。この上振れの要因でございますが、粗利の方はほぼ見通し通りでしたので、販管費の適正化によるものでございます。

## FY2024 Q3累計 調整後EBITDAと営業利益



(Billion yen)



※ ( ) 内はFY2023 Q3累計実績

\* 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (使用権資産の減価償却費のうち家賃等相当額を除く) + (-) 未払有給休暇の増減 (減額) + 株式報酬費用 - (+) その他の収益 (費用) - (+) その他通常のでない収益 (損失)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

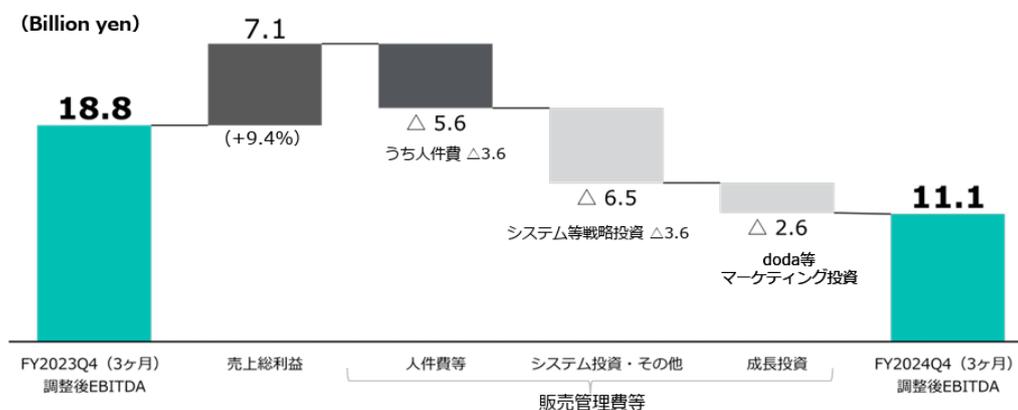
6

続いて調整後 EBITDA648 億円から、IFRS ベースの営業利益 484 億円までの推移でございます。減価償却費、それから未払の有給負債がそれぞれ昨年対比で増加しておりますが、大きなトレンドの変化はございませんでした。

## FY2024 Q4 (1-3月) 調整後EBITDAの見通し (前期比)



売上総利益の成長は+9.4%で堅調な見通し  
来期に向けてdoda等のマーケティング投資を強化



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

7

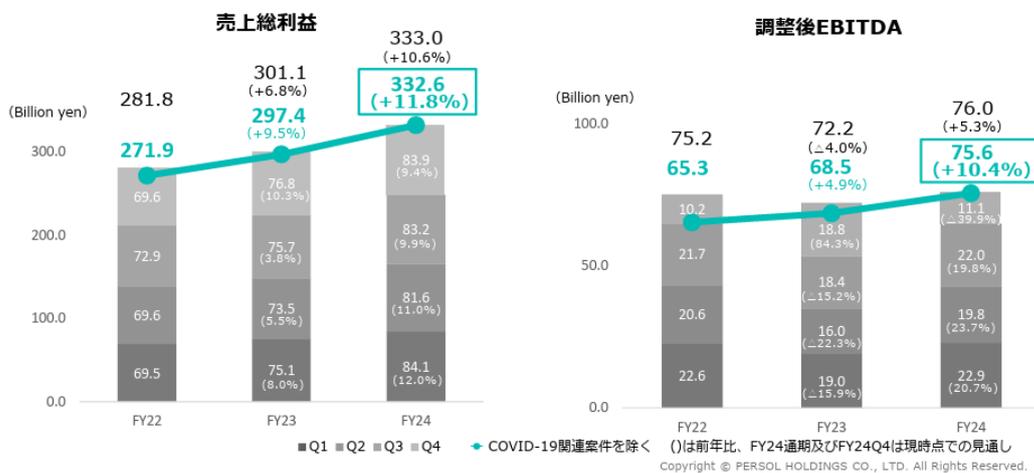
続きまして、Q4、1月-3月期の見通しについて説明をいたします。

Q3は30億円強上振れておりますが、通期の調整後EBITDA予想760億円については見通しを修正しておりません。内容としてですが、まず売上総利益、粗利につきましては、同じく前年対比で約10%、71億円の増を見込んでおります。また販管費につきましては、人件費を中心とした固定費ということで56億円の増を見込んでおります。また冒頭説明いたしましたが、今回のQ3の上振れ分も含めて、doda等を含めたマーケティング投資、それから将来の、来期以降の経費削減に資するシステム投資をしたいと考えております。

## 売上総利益・調整後EBITDAの推移



### 売上総利益は安定的に成長



続きまして、FY22 から FY24 までの売上総利益と調整後 EBITDA の四半期ごとの推移でございます。なお、緑の折れ線グラフは COVID-19 関連案件を除いた数字でございます。

まず売上総利益でございますが、FY23 は 2,974 億円でした。12%程度成長を見込んでおりまして、FY24 は 3,326 億円を目指しております。一方調整後 EBITDA につきましては、COVID-19 関連案件を除き FY23 は 685 億円でございます。FY24 は 10.4%成長の 756 億円を目指しております。

## FY2025に向けた市場環境と事業の見通し



### 来期は、調整後EBITDA **10%**程度の成長を目指す

#### ワークフォース事業

Staffing, BPO, Technology, APAC

- ・ 市場環境は、足元状況から大きく変更なく、堅調に推移する見込み
- ・ デジタル化を中心とした生産性の改善に、継続して注力

#### デジタルプラットフォーム事業

Career

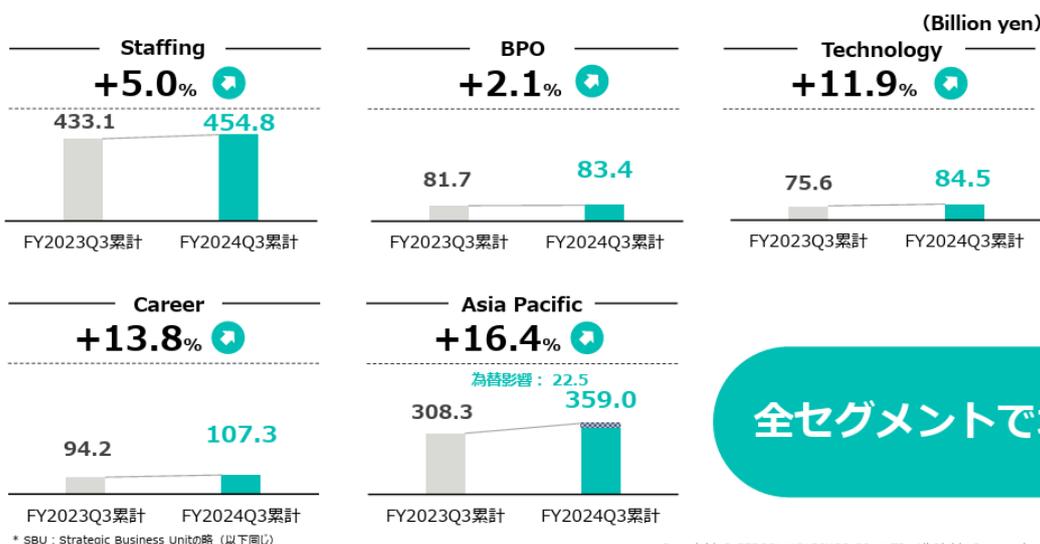
- ・ 市場環境は、企業需要は旺盛である一方、転職希望者の動きは引き続き慎重
- ・ 利益成長率と利益率は維持しつつ、将来に向けたマーケティング投資を継続

来年度、FY25 に向けた市場の環境の見立てと事業の見通しでございます。

まず、ワークフォース事業、具体的に申し上げますと Staffing、BPO、Technology 等でございますが、こちらにつきましては足元の状況から大きく変更がないと想定しております。具体的に申し上げますと、Staffing は 5%程度、BPO と Technology につきましても 2 桁の成長が達成できるのではないかと見込んでおります。

もう 1 つのデジタルプラットフォーム事業、こちらの方は主に Career、人材紹介でございますが、企業のお客様の需要については旺盛である一方で、個人の方、転職希望者の動きについては慎重な状況が続いております。いずれにしましても来期調整後 EBITDA の 10%程度の成長を目指していきたいと考えております。

## FY2024 Q3累計 SBU別売上収益



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

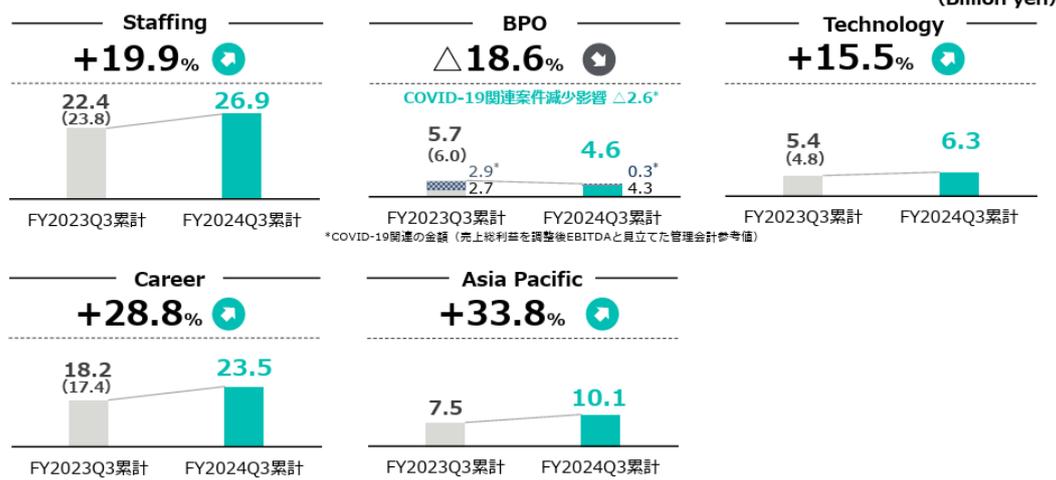
10

こちらから SBU 別の売上の状況でございますが、ご覧いただいた通り全セグメントで増収を達成しております。また、Asia Pacificにつきましては為替の影響が 200 億円強ございましたが、為替の影響を除いても 10%近い成長を達成しております。

## FY2024 Q3累計 SBU別調整後EBITDA



( ) 内はプロフォーマ前の数値を記載



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

11

続きまして、SBU 別の調整後 EBITDA の状況でございます。

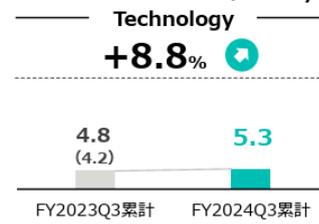
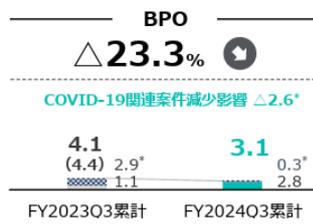
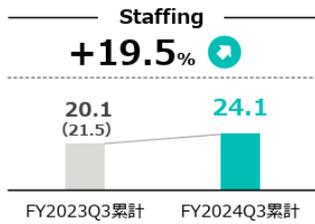
当社の主力であります Staffing 事業につきましては、約 20%増の調整後 EBITDA の成長を達成しております。また、Career につきましても 30%弱の調整後 EBITDA の成長を達成しております。

## FY2024 Q3累計 SBU別営業利益



( ) 内はプロフォーマ前の数値を記載

(Billion yen)



\*COVID-19関連の金額 (売上総利益を営業利益と見立てた管理会計参考値)

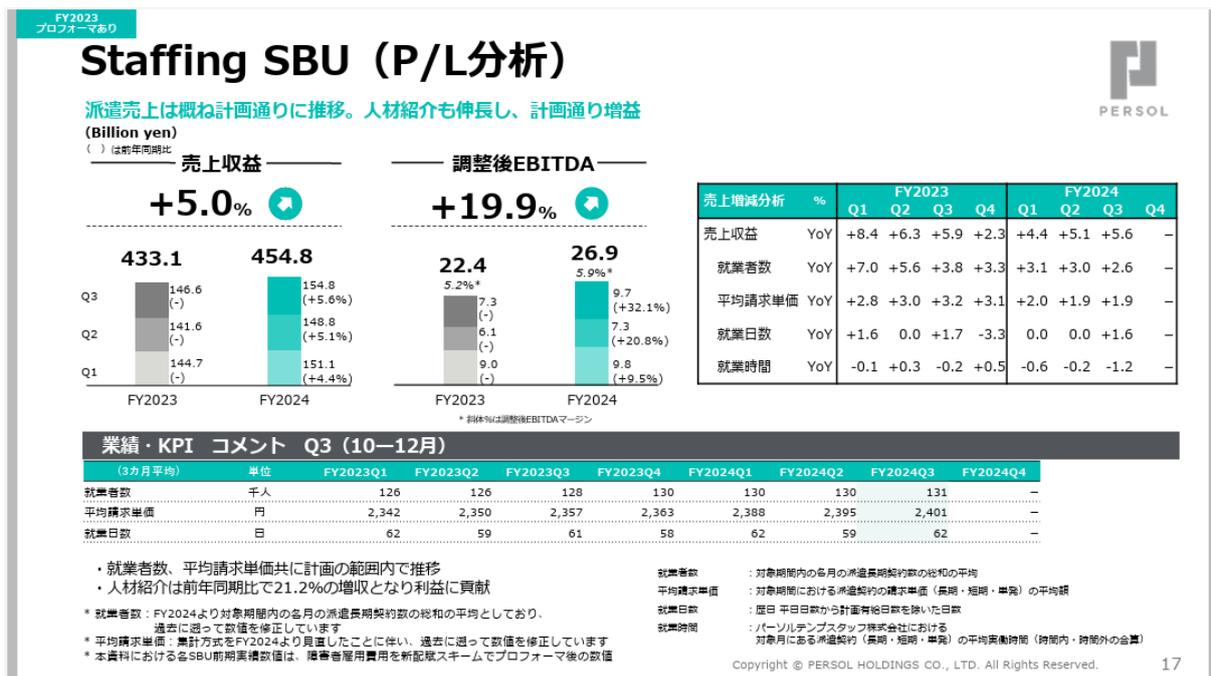
\* 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーマ後の数値

続いて、SBU 別の営業利益の状況でございますが、こちらは先程の調整後 EBITDA と同じような状況でございますので、説明は割愛をさせていただきます。

# FY2024 Q3累計 SBU別決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

これから、SBU 別の決算概要、そして足元の状況について説明をいたします。



まず、当社の主力の Staffing SBU でございます。

冒頭説明した通り、売上につきましては昨年度対比で 5%の増、そして調整後 EBITDA につきましては約 20%の増でございました。KPI でございますが、就業者数につきましては前年同期対比で 2.6%の増、そして平均請求単価につきましては約 2%の増でございました。なお、Q3 の前年対比 5.6%の売上増の要因といたしまして、真ん中の表を見ていただきたいのですが就業日数が昨年度の 61 日に対して今年度は 62 日でございました。

# 事業トピックス : Staffing SBU



## 6年連続 派遣会社満足度ランキング1位

### ▶「派遣スタッフが選ぶ！ 派遣会社満足度ランキング2024」6年連続 総合満足度ランキング1位

～ 2年連続 継続就業意向度ランキング1位との2冠を獲得 ～

2024年12月25日、パーソルテンブスタッフは、エン・ジャパンが運営する『派遣の働き方研究所』発表の「派遣スタッフが選ぶ！ 派遣会社満足度ランキング2024」において、“6年連続 総合満足度1位”および“2年連続 継続就業意向度1位”の2冠を獲得しました。



今後も派遣スタッフの方が安心して働き続けることができるよう伴走し、キャリア支援を行うとともに、派遣先企業にもより良い人材サービスを提供してまいります。

詳しくは[こちら](#)

Staffing SBU のトピックでございますが、記載の通り派遣会社の総合満足度ランキング、そして継続就業意向度ランキングで、それぞれ6年連続、2年連続で1位を達成してございます。

FY2023  
プロフィールあり

## BPO SBU (P/L分析)



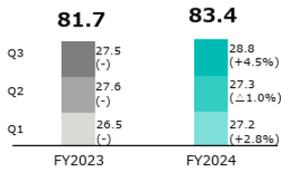
### 売上収益はCOVID-19関連剥落分を上回り、増収

(Billion yen)

( ) は前年同期比

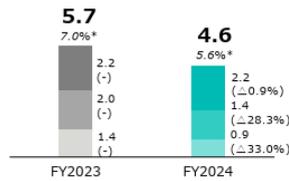
#### 売上収益

+2.1%



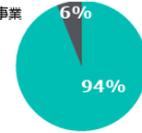
#### 調整後EBITDA

△18.6%



#### 売上構成比

コンサルティング事業 6% BPO事業 94% FY2024Q3累計



オーガニック業績推移	単位	FY2023				FY2024			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上収益	Billion yen	26.5	27.6	27.5	29.0	27.2	27.3	28.8	-
オーガニック*	Billion yen	23.4	24.6	25.4	27.3	26.7	26.8	28.8	-

\* COVID-19関連案件被害額を差し引いて算出

#### 業績・KPI コメント Q3 (10-12月)

単位	FY2023Q1	FY2023Q2	FY2023Q3	FY2023Q4	FY2024Q1	FY2024Q2	FY2024Q3	FY2024Q4	Q1 YoY	Q2 YoY	Q3 YoY	Q4 YoY	
顧客数	社	1,658	1,724	1,894	1,931	2,018	2,173	1,663	-	+21.7%	+26.0%	-12.2%	-

・オーガニック売上は、前年同期比で+13.1%、顧客数は同△12.2% (10月の3社統合での名寄せによる影響)

\* 本資料におけるSBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新規取組スキームでプロフォーマ後の数値

続きまして、BPO SBU でございます。

COVID-19 関連案件の剥落によって減益ということになっておりますが、右の方の表を見ていただいた通り、COVID-19 関連案件を除いたオーガニックな事業につきましては堅調に成長しているような状況でございます。BPO につきましては、このあと和田の方から今回の買収の目的、あるいは成果等につきまして説明を申し上げます。

# Technology SBU (P/L分析)

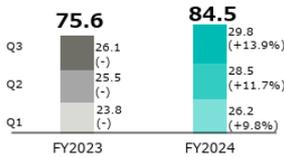
新卒の稼働開始やエンジニア増、平均売上単価の上昇により増収・増益

(Billion yen)

( ) は前年同期比

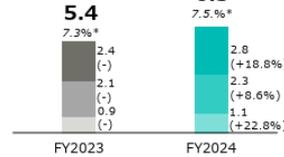
売上収益

+11.9%



調整後EBITDA

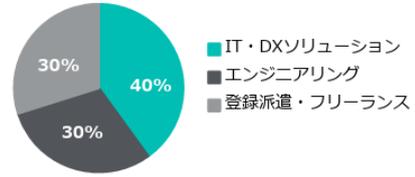
+15.5%



\* 割合は調整後EBITDAマージン

売上構成比

FY2024Q3累計



## 業績・KPI コメント Q3 (10-12月)

業種	KPI	単位	FY2023				FY2024				YoY			
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
IT・DXソリューション	エンジニア数 (稼働人数)	人月	2,620	2,740	2,890	2,930	3,140	3,320	3,390	-	+19.8%	+21.2%	+17.3%	-
	稼働率 (自社員のみ)	%	83.8%	85.3%	89.1%	90.1%	82.0%	86.2%	87.8%	-	-1.9pt	+0.9pt	-1.3pt	-
	平均売上単価/月 (BPM含む)	千円	1,167	1,179	1,166	1,220	1,204	1,211	1,198	-	+3.1%	+2.6%	+2.7%	-
エンジニアリング	エンジニア数 (稼働人数)	人月	3,210	3,260	3,310	3,310	3,440	3,580	3,620	-	+7.2%	+9.8%	+9.4%	-
	稼働率 (自社員のみ)	%	89.9%	93.5%	94.1%	94.0%	87.4%	92.3%	94.0%	-	-2.5pt	-1.1pt	-0.1pt	-
	平均売上単価/月 (BPM含む)	千円	747	764	815	820	783	830	845	-	+4.8%	+8.7%	+3.7%	-
登録派遣・フリーランス	登録派遣エンジニア数 (就業人数)	人	4,850	4,840	4,780	4,780	4,680	4,640	4,660	-	-3.5%	-4.1%	-2.5%	-
	派遣稼働率	%	3,851	3,871	3,897	3,936	3,986	4,016	4,023	-	+3.5%	+3.8%	+3.2%	-
	平均売上単価	円	3,851	3,871	3,897	3,936	3,986	4,016	4,023	-	+3.5%	+3.8%	+3.2%	-

・ IT・DXソリューション、エンジニアリングともに堅調に推移し、エンジニア数、平均売上単価はYoYで増加

\* IT・DXソリューションのFY24Q1のエンジニア数・稼働率について集計方法に誤りがあったため訂正いたしました

\* 本資料におけるSBU前期末業績数値は、繰上費用費用を新記載スキームでプロフォーマー後の数値

3つ目のSBU、Technology SBUでございます。

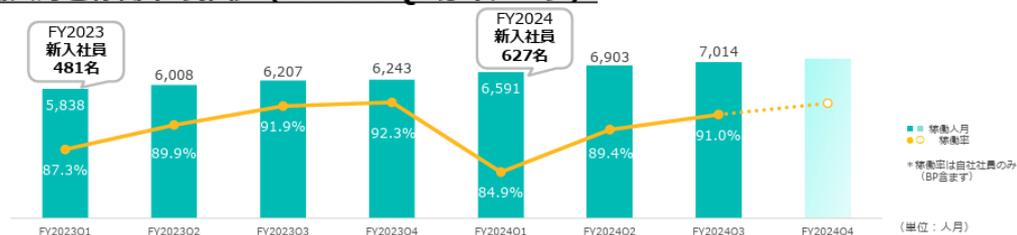
売上につきましては約 12%の増、そして調整後 EBITDA につきましては 15%の増ということで、好調な状況でございます。下の KPI を見ていただくと、まず IT・DX ソリューションのエンジニアの数につきましては、3,390 人ということで、前年同期比で 17%の増ということでございます。また平均請求単価につきましても前年同期比で 2.7%増ということで、好調でございます。真ん中の機械、電気エンジニアリング事業でございますが、まずエンジニアの数につきましては前年対比 9%増ということで、3,620 名でございます。請求単価につきましても大きく伸ばしておりまして、3.7%増の 84 万円でございます。また登録型の派遣につきましては、やや人数が減っているような状況でございます。

## 稼働率と平均売上単価（IT・DXソリューション+エンジニアリング）

（※登録派遣・フリーランスは除く）



### 稼働人月と稼働率の推移（FY2024Q4はイメージ）



### 平均売上単価の推移（稼働人月ベース、FY2024Q4はイメージ）



\*平均売上単価 = 売上 ÷ 稼働人月で算出

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

21

Technology の正社員、これは登録派遣・フリーランスを除く正社員ベースのエンジニアの数の状況でございます。この Q3 で 7,014 名ということで、昨年同期の 6,200 名から大きく伸ばしております。また下の方の請求単価につきましても順調に伸ばしているような状況でございます。

## 事業トピックス： Technology SBU

### ソリューションビジネスの強化に向けた取り組み



#### 企業のDX推進による生産性とユーザーエクスペリエンスの向上を支援

- 拡大が続く国内のDAP\*市場をけん引するWalkMe社と業務提携。企業・組織のSaaSやWebアプリケーション活用における生産性向上とユーザーエクスペリエンス（UX）向上について、コンサルティングから提案・運用まで一気通貫で支援を行う

\*1 DAP：Digital Adoption Platformの略。Digital Adoptionとは、企業がデジタルトランスフォーメーション（DX）で導入した複数のSaaSやWebアプリケーションなどのデジタルテクノロジーを効果的に活用するプロセス。Digital Adoption Platformとはデジタルアダプションを支援し、効果を最大化するためのソフトウェアやプラットフォームを指す

※詳細は[こちら](#)

パーソル クロステクノロジー

#### 製造・物流業界におけるDXコンサルティング・ソリューションサービスの提供を加速

- 物流業界が抱える2024年問題やサプライチェーンの複雑化・多様化に対する生産性向上などの課題解決に向けクラウド型WMS\*を中心とした物流DXに強みを持つダイアログ社への出資を実施
- 今回の出資により、ダイアログ社の成長を支援しながら、製造・物流業界におけるDXコンサルティング・ソリューションサービスをダイアログ社と共に加速。人材不足問題の解消、生産性向上に貢献し、日本の製造・物流業界の競争力強化を支援する

\*2 WMS：Warehouse Management System（倉庫管理システム）の略

※詳細は[こちら](#)

パーソル クロステクノロジー

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

22

Technology SBU のトピックスについて、2 つ掲載しておりますが、時間の関係で 2 つ目を紹介させていただきたいと思っております。

製造物流の会社でございます、ダイアログ様に今般出資をさせていただきました。また、ダイアログ様と提携を進めて、この物流倉庫の分野で私どもの請負、あるいはエンジニアの派遣を伸ばしていきたいと考えております。

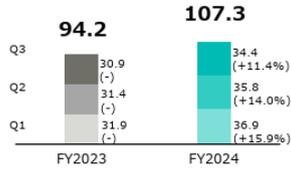
## Career SBU (P/L分析)

増収効果と生産性向上により増益。来期の成長に向け、下期よりマーケティング投資を強化

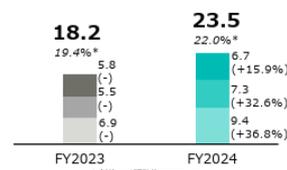
(Billion yen)

( ) は前年同期比

売上収益  
**+13.8%**



調整後EBITDA  
**+28.8%**



売上構成比



FY2024 Q3累計

売上増減	%	FY2023				FY2024			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
人材紹介	YoY	+35	+29	+17	+14	+14	+12	+8	-
求人メディア	YoY	+27	+21	+20	+15	+13	+12	+9	-

### 業績・KPI コメント Q3 (10-12月)

	単位	FY2023Q1	FY2023Q2	FY2023Q3	FY2023Q4	FY2024Q1	FY2024Q2	FY2024Q3	FY2024Q4	Q1 YoY	Q2 YoY	Q3 YoY	Q4 YoY
人材紹介事業のHC	人	2,104	2,268	2,304	2,355	2,404	2,451	2,354	-	+14.2%	+8.1%	+2.2%	-
人材紹介事業の生産性	千円	3,190	2,725	2,574	2,732	3,167	2,783	2,654	-	-0.7%	+2.1%	+3.1%	-

- ・労働力不足を背景に企業の求人意欲は強い一方で、賃上げを背景とした転職希望者の慎重な傾向は上期から変わらず
- ・HC：前年同期比+2.2%。育成・生産性とのバランスをみて、採用ペースはコントロール
- ・生産性：前年同期比+3.1%で回復基調

\* 人材紹介事業のHCは、Career Advisors、Recruiting Advisors、Project Agents等の総数  
\* 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新記帳スキームでプロフィール後の数値

4つ目のSBU、Career SBUでございます。

Q3 累計で約 14%の売上の成長でございます。また、冒頭申し上げました通り、調整後 EBITDA につきましては約 30%の増ということでございます。またコンサルタントの数につきましては、マーケットの状況を踏まえて約 2,400 名ということでステイさせて、むしろコンサルタントの生産性アップの方に今後は注力をさせていきたいと考えております。

## 事業トピックス : Career SBU

### ジャパン・アルムナイ・アワード2024 「イノベーション創出部門」最優秀賞受賞

- 2023年4月のアルムナイコミュニティ発足から約1年でコミュニティ会員数は**1,000名**を突破、**年間の業務委託数・再入社者数**ともに**2桁台**に及ぶなど、大きな成果を残したことが高く評価
- アルムナイが業務委託として関わることで、現役社員にも新たな気づきの機会が生まれているほか、他社を経験したアルムナイの再入社が増えることで、**現役社員のエンゲージメントも向上**

※詳細は[こちら](#)



### 開発生産性が優れる企業に選出

- エンジニアのプラットフォームを提供するファインディ(株)のサービス「Findy Team+」利用企業の中から、開発生産性が優れた組織を表彰する「Findy Team+ Award 2024」の「**Frontier Award Best Practice Division (開発生産性に関する先進的な取り組みを実践した組織)**」に選出
- **doda開発チームのバリューストリームマッピング**を活用した開発生産性向上の取り組み、特に「**独自性**」と「**影響力**」が高評価

※詳細は[こちら](#)



Career SBU のトピックスでございますが、アワードをいただいておりますが時間の関係で今日は省略させていただきますので、後ほどご覧ください。

## Asia Pacific SBU (P/L分析)

ファシリティマネジメント事業の成長に加え、為替影響もあり、増収増益

(Billion yen)

( )は前年同期比

売上収益

+16.4%

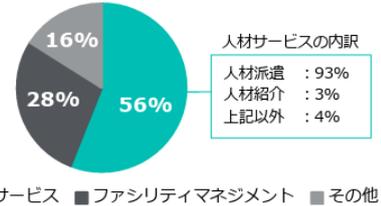


調整後EBITDA

+33.8%



売上構成比



### 業績・KPI コメント Q3 (10-12月)

#### 人材サービス

- 人材派遣は一部の国を除き、堅調に推移
- 人材紹介は引き続き低調
- 人材紹介のHC (コンサルタント数) はQ3平均1,067名

#### ファシリティマネジメント

- 上期に引き続き豪ドルベースで2桁成長

\* 為替レート 【豪ドル】 FY2023Q3累計 : 94.3円、FY2024Q3累計 : 100.7円

最後のSBU、Asia Pacific SBU でございます。

こちらの方も冒頭説明しました通り、為替の影響を含めて 16%、為替の影響を除いて約 10%の売上の増でございました。調整後 EBITDA につきましては 30%を超える増益でございます。なお、各市場の状況でございますが、人材紹介につきましては引き続き低調な状況でございます。また人材派遣につきましても一部の国を除き堅調に推移しております。またファシリティマネジメントサービスにつきましては、Q2 までと同様に好調な状況でございます。

## 事業トピックス : Asia Pacific SBU

### メルボルン空港でSafety Awardを受賞

- メルボルン空港のファシリティマネジメントのメンバーが、Safety Awardを受賞
- メルボルン空港内における安全性に対するリーダーシップとその貢献度が高く評価されての受賞



### ファシリティマネジメント 契約獲得・更新

- Southern Queensland Correction Centre ステージ2の契約を追加受注
- 西オーストラリア州との契約が2027年まで延長され、15年に亘る契約期間となった。また、ニュージーランドオークランド・カウンシルとの契約も2027年までの延長が決まった



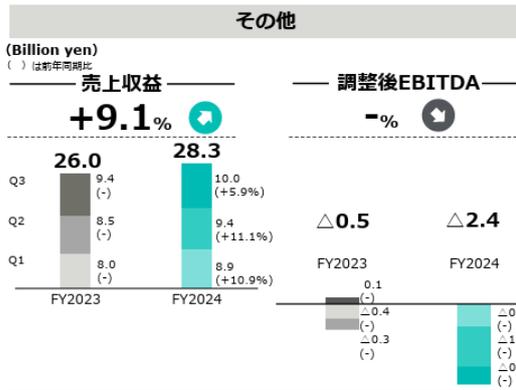
GOVERNMENT OF WESTERN AUSTRALIA



Southern Queensland Correction Centre

Asia Pacific SBU のトピックスでございますが、メルボルン空港等のお仕事でアワードをいただいておりますが、時間の関係で今日は説明を割愛させていただきたいと思っております。

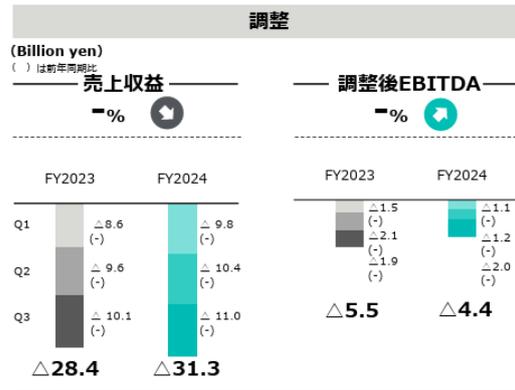
## その他・調整 (P/L分析)



**業績・コメント Q3 (10-12月)**

- 売上収益は、R&D Function Unitの各事業成長により増収
- 調整後EBITDAは、R&D Function Unitの投資拡大により減益

\* その他および調整の内容につきましては、決算短信のセグメント情報等に関する注記をご参照ください  
\* 本資料におけるSBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新取組スキームでプロフォーマ後の数値



**業績・コメント Q3 (10-12月)**

—

最後までございますが、その他・調整の状況でございます。

その他の中には、スキマバイトのシェアフルも含まれますが、今年度はシェアフルにしっかりと投資をしていきたいということで、昨年度のマイナス 5 億円から今年度はマイナス 24 億円ということでございますが、この分野につきましては引き続きマーケティング投資を強化したいと考えております。調整というのはホールディングスの費用等でございますが、こちらの方は昨年度に比べて大きな変更はございません。

## 事業トピックス：パーソル総合研究所



### ●調査・研究の発信

4/24	①働くソーシャル・リスニング	6/24	⑥HR Data Bank in APAC	10/24	⑩働くソーシャル・リスニング(24年上期)
4/26	②はたらく1万人の成長定点調査	6/25	⑦精神障害者雇用の現場マネジメント	11/27	⑫オフボーディングに関する定量調査
5/30	③転勤と遠隔地勤務に関する調査	8/22	⑧第9回テレワーク調査	12/04	⑬更年期の仕事と健康に関する定量調査
6/05	④カスタマー・ハラスメントに関する調査	8/28	⑨出張に関する定量調査	12/24	⑭若手従業員のメンタルヘルス不調についての定量調査
6/07	⑤キャリア対話に関する定性調査	10/17	⑯労働市場の未来推計2035	1/14	⑮OJTに関する定量調査

### ●機関誌HITO・HITO Report 発刊



10/31発刊  
機関誌 HITO Report  
-労働市場の未来推計2035-  
人口減少と高齢化に  
どう立ち向かうか  
「変化」を起こす



12/1発刊  
機関誌 HITO  
人事トレンドワード  
2024-2025  
今回は、「カスハラ対策」  
「スキマバイト」「オフボー  
ディング」の3ワードを選出

### ●新著発刊



2025年2/8発刊  
中央公論新社  
上席主任研究員 藤井薫著  
ジョブ型人事の道しるべ  
～キャリア迷子にならないために  
知っておくべきこと～

最後までございますが、パーソル総研の調査、研究について記載してございますので、後ほどご覧いただければありがたいと思います。

私から Q3 の決算概要、そして SBU の足元の状況について説明をいたしました。

# BPO事業の強化

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】

それでは続きまして、BPO 事業につきまして私の方からご説明させていただきます。

## パーソルコミュニケーションサービスの概要

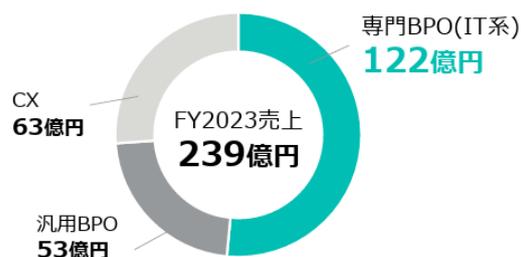


- 2025年2月3日付けで、富士通コミュニケーションサービスの全株式を200億円で取得
- 社名をパーソルコミュニケーションサービス (CSL) に変更

### CSLの概要

会社名	パーソルコミュニケーションサービス株式会社 (旧社名：富士通コミュニケーションサービス株式会社)
本社	神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5 横浜アイマークプレイス
取締役	代表取締役社長 軽井 宏直 取締役副社長執行役員 金井 美紀和
設立年月	1994年12月
従業員数	4,400名 (2024年3月末日時点)
売上	239億円 (FY2023)
拠点	北海道、宮城県、神奈川県、新潟県、 大阪府、愛媛県、福岡県

### CSLの事業別売上構成 (FY2023)



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

30

今般、2月3日付で、富士通コミュニケーションサービス様の株式を100%取得させていただきました。金額は200億円でございます。

それに伴いまして、社名を「パーソルコミュニケーションサービス」に変えさせていただいております。

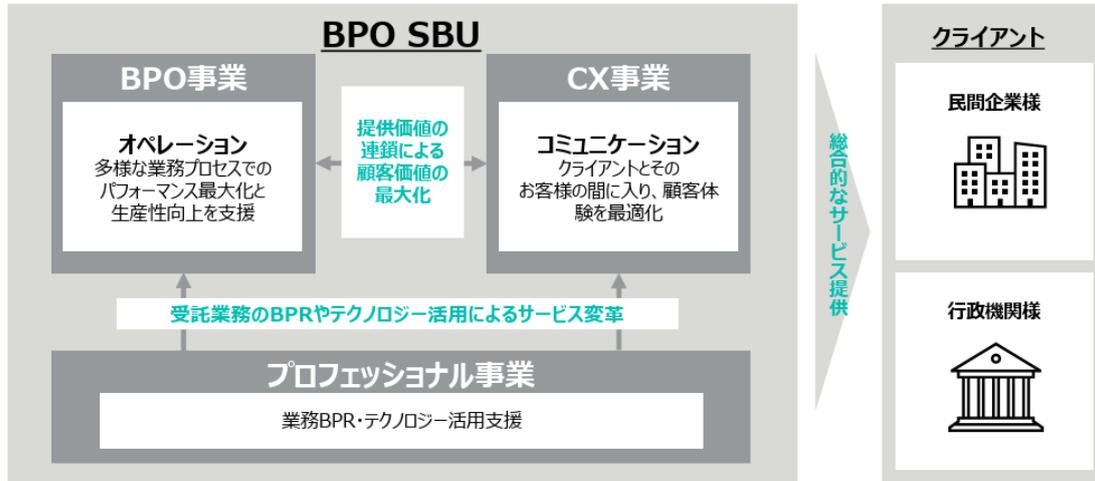
今回の買収の目的でございますけれども、我々のIT関連のサポート領域、そして運用支援領域、そういったところを強化するということで、BPO全体の強みを拡張させたいというのが思いでございます。

## 中長期の戦略方針 (3つの事業が生み出す価値)

2024年7月  
IR DAY資料再掲



- BPO、CX、プロフェッショナルの3事業の組み合わせにより、クライアントの多様な課題に対し最適なサービス提供が可能



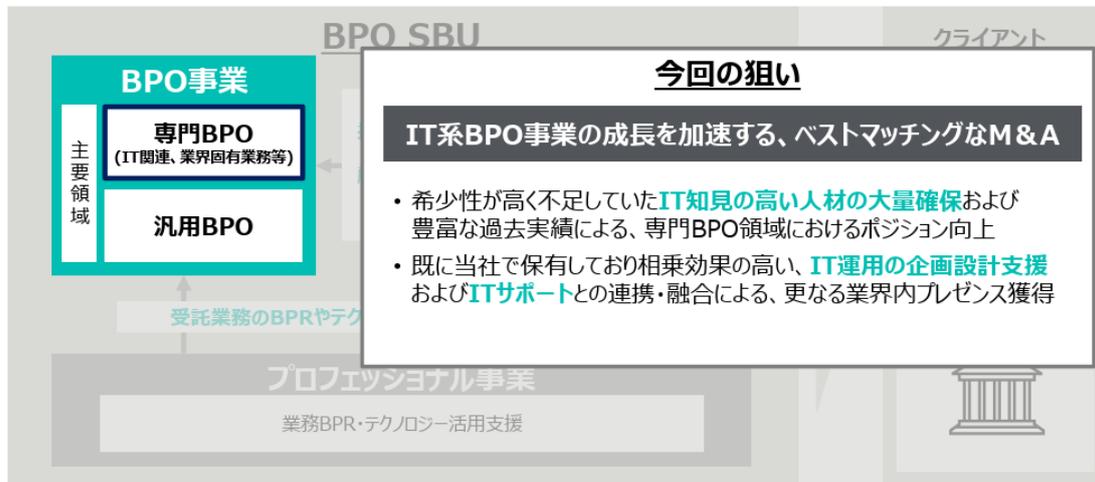
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

31

実際に我々はこの3つの領域で進めていますが、今回 BPO 事業をいかに強化するかというところでございます。

## 戦略上の意義

- 最注力のBPO事業の中でも、市場規模の大きい「IT運用領域」のナレッジ・人材を獲得し、事業成長の加速を企図



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

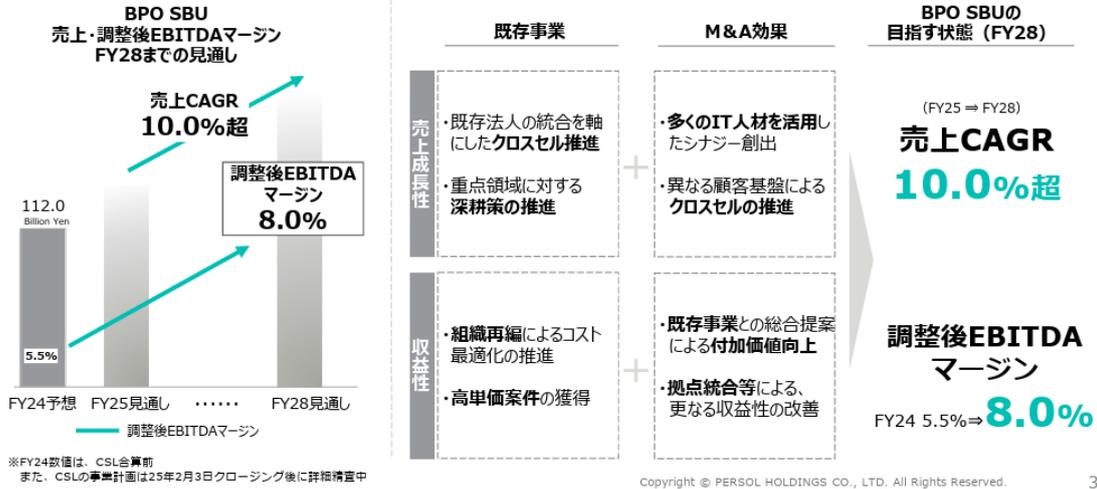
32

特にこの BPO 事業の中でも、専門 BPO と汎用 BPO に大きく分けることができますが、我々は今まで比較的汎用 BPO は強く、専門 BPO は強化領域として認識をしておりました。今回この専門 BPO 領域、特に IT 知見の高い人材を擁した IT システム運用企画や、運用、それからサポート支援、こういったものを取り組むことによって、我々が対応できる BPO 領域の幅を広げること、そして 1 のお客様に対してより深く入り込んで受託の幅を広げる、このような計画でこの取り組みをさせていただきたいと思っています。

# 将来の見通しとシナジー



- 昨年10月にBPO SBU内の法人統合および組織再編を実施し、**クロスセルやコスト最適化を推進**
- CSLのグループ入りによって、その勢いを加速し、**成長性と収益性の両立を描く**



特に、今後 2028 年までに売上を CAGR で 10%成長させていきたいと思っておりますし、調整後 EBITDA マージンにおきましても現在 5.5%のところを 8%の水準には持ち上げていけると考えております。特にその背景はクロスセルの推進もそうですし、重点領域に対する深耕をしていくこと、それから我々が持っている営業リソース、営業のネットワークをフル活用することによって、より収益性の高い IT 領域の BPO を獲得できる、こういった算段をしております。そして今後、この領域を強めることによる BPO 全体の成長にドライブをかけていきたいと考えております。

# Group Topics

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

次はグループのトピックスになります。

## 人的資本レポート2025の発行



2025年1月24日に2回目となる

パーソルグループ人的資本レポート2025を発行

- 中期経営計画2026で計画する2,000億円の人的資本投資が、どのようにグループの価値創造（アウトカム）につながるのか、その道筋を「インパクトパス」として可視化
- 「人材ポートフォリオ」の整備に着手、グループ横断で統一の職種群を定義し、事業戦略に基づく重点職種を開示
- 幹部メッセージや、グループではたらく社員、派遣スタッフの生の声を紹介

人的資本レポート2025（日本語版）は[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

35

BPO を強化するということもそうでございますけれども、人材投資を今後しっかりと推進していくことを意図して、人的資本レポートを発行しております。ぜひ皆様にもご一読いただきまして、パーソルグループの取り組み、人的資本の経営とはどういうものかというのをぜひご覧いただければと思っております。

## 日本取締役協会主催 「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー<sup>®</sup>2024」 東京都知事賞を受賞



“もっともっと人を輝かせる東京”の実現に向け、環境への取組に加え、女性活躍等のダイバーシティへの対応や都が進める施策への貢献が評価されました

### (主な選定理由)

- すべての人たちが「はたらいて、笑おう。」を実感できる持続可能な社会の実現に向け、人材派遣や転職・就職サービス、障がい者雇用・就労移行支援など、「働く」に特化した多様なサービスを展開
- ダイバーシティの推進として、同社単体で女性管理職比率および女性採用比率が高い水準に達しており、女性が一層活躍できる社会の実現に貢献している。また、男性の育児休業等取得率を2025年度までに100%とする目標を掲げ、男性が参加する「おむつ替え講習会・選手権」などユニークな取組を展開している。障がい者雇用にもグループ全体で積極的に取り組んでおり、2023年度には3,000名近い雇用を行った



詳細は[こちら](#)

そして、この人的資本レポートとも連動するのですが、我々のダイバーシティの取り組み、女性活躍推進の取り組みをご評価いただきまして、日本取締役協会様から、コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤーの東京都知事賞を受賞いたしました。先般表彰式がございまして参加させていただきましたが、非常に錚々たる企業様がその対象になっておられるということで、我々もその仲間に入れたということは非常に光栄でございます。

以上、私の方からのご案内になります。

(終)